

## 下野市子ども・子育て会議 議事録

審議会等名 令和5年度第2回下野市子ども・子育て会議  
日 時 令和5年11月20日（月） 午後1時30分から3時15分まで  
会 場 下野市役所 3階 304会議室  
出席者 一戸幸宏委員、大橋なみ子委員、新田知明委員、小池里美委員、  
川中子源委員、金澤芳之委員、小倉庸寛委員、野口恵美委員、  
佐間田香委員、近藤令兒委員、藤川智子委員、中田好則委員  
【欠席委員】津野田仁大委員、小林勲委員  
市側出席者 （事務局）福田健康福祉部長、浅香こども福祉課長、  
神田こども福祉課課長補佐、伊澤こども福祉課課長補佐、  
篠原こども福祉課課長補佐、山家こども福祉課課長補佐、  
泉田こども福祉課主幹、小林こども福祉課主事  
公開・非公開の別（  公開 ・  一部公開 ・  非公開 ）  
傍聴者 0名  
報道機関 なし  
議事録（概要）作成年月日 令和6年3月8日

### 1. 開 会

（事務局、浅香課長）

ただいまより、令和5年度の第2回下野市子ども・子育て会議を開会いたします。こども福祉課長の浅香と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。本日の会議は、小林委員と津野田委員から欠席の連絡を受けております。過半数の委員が出席していますので、下野市子ども・子育て会議条例第6条第2項の規定を満たしており、会議が成立することを報告します。それでは次第に基づき、会長あいさつをお願いします。

### 2. 会長あいさつ

（佐間田会長） こんにちは。本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。2回目の会議ということで事前資料もご覧になっていただいています。今回アンケートということで、これからの事業に対する基本となるものだと思いますので、皆様の意見を期待しています。毎回申し上げますが、意見に間違いはありませんし、皆さん違う立場の方だと思いますので、違う立場の意見が出ると思います。遠慮なさらずに意見していただければと思います。どうぞよろしくお願ひします。

### 3. 議事録署名人の選任

(事務局、浅香課長)

ありがとうございました。それでは議事に入らせていただきます。下野市子ども・子育て会議条例第6条第1項の規定により、会長に議長をお願いいたします。それでは佐間田会長、よろしく申し上げます。

(佐間田会長) それでは、まず次第3、議事録署名人の選任ということで、今回の議事録署名人は順番で、大橋なみ子委員でよろしいでしょうか。

(大橋委員) はい、分かりました。

(佐間田会長) よろしく申し上げます。

### 4. 議事

(佐間田会長) 続きまして、議事に入らせていただきます。(1)第三期下野市子ども・子育て支援事業計画策定に関わるニーズ調査について、事務局より説明をお願いいたします。

(事務局、神田課長補佐)

【資料1 「下野市子ども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査について」、資料2 「今後のスケジュール」、資料3 「調査票 調査項目区分」、及び事前配布した「下野市子育て支援に関するニーズ調査・調査票」に基づき説明】

(佐間田会長) 事務局より説明がありました。令和7年度からの次期計画策定の基礎となる重要な調査となりますので、皆様には活発な議論をいただければと思います。ご意見やご質問などある方は、お願いいたします。

(金澤委員) 親の就労時間を書く欄がいくつかあります。こちらは休憩時間も含めて職場にいる時間を記入するものだと思いますが、ご家庭で保育に当たれない時間ということで、その旨も書いておいたほうがよいのかなと思いました。例えば、小学生児童保護者調査票の修正版4ページで、1日あたりの時間は就労時間を含むと書いてありますが、休憩時間も含むとか書き加えるとよいと思います。

(事務局、神田課長補佐)

対応いたします。

(佐間田会長) 他にご意見ございませんでしょうか。小さなことでも構いませんので、ご意

見いただければと思います。

(小倉委員)

先に送られていた就学前児童保護者調査票の4ページ問7で、質問は「お子さんの子育てに、もっとも影響すると思われる環境は何だと思えますか。」という質問です。回答の一つ目は、家庭が影響するというところでよろしいと思えます。次に地域となっていますが、なぜ地域が子育てに必要な影響をするのか分からないかもしれません。どういう意図で答えをもらいたいのか。例えば、地域の後ろに括弧書きで、自然が豊かとか、公園が多いとかにすると、子育てへの影響が地域に関係しているということで、地域にチェックをする人がいるかもしれないと思えました。それから、幼稚園、保育所、認定こども園とありますが、それぞれが別々みたいになっていて、家庭、地域、預ける施設にして、括弧書きで幼稚園・保育所・認定こども園、その他みたいにする、預ける施設が子育てに影響があるということで、チェックをする人もいるのかなと思ったのが一つです。

それから、問8-1の回答の中で「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」と書いてあり、責めているみたいな言い方で嫌だなと思えました。いい言い方はないかなと思えました。経済的な金銭的な負担をかけていることが心配みたいな答えのほうがいいのか、身体的負担という回答もよく分からなくて、体力的という言い方なのかなと思えます。おじいちゃんやおばあちゃんに預けるときは、身体的負担というよりも体力的負担なのではないかなと思えます。精神的負担と体力的負担、体それから心、時間、精神的、そういうところが被っているのかなと思えます。あとは経済的、実費的な費用がかけてしまうから心配、心苦しいと思うのかなというのが二つ目です。

それから5ページ目、子育てに関することの中に「育児の方法がよくわからない」とあります。子育てをめぐって悩んでいることを、子育てをしているのに育児の方法がよく分からないと、お母さんに聞くのは失礼ではないかなと思えます。子育てをちゃんとしているでしょとなるのかなと思えます。そこが少し気になり、なくてもいいのではと思えました。あとは「子どもとの接し方に自信がもてない」という回答ですが、これもお母さんに失礼かなと思えました。接し方を育て方に変えて、育て方に自信がもてないであればチェックをする人がいるかなと思えました。もう一つ、やはり「子育てに出費がかさむ」という言い方が気になります。将来や今に対する経済的な負担があるから心配なんじゃないかなと思えます。家計的な負担が心配とか、経済的な負担が心配のような言い方のほうが、よろしいのかなと思えます。それから、保育園・幼稚園などに関することの中の「子どもの友達つきあいに関すること」について、乳児や幼児が友達付き合いに心配なことってあるのかなって思えます。親からみて子どもの友達関係が心配だとか、むしろ親同士の付き合いが心配だったりするのかなと思えました。そうすると、特になしと

ということにはならないので、「特になし」はなくてもいいと思います。

続いて、6ページです。用語の欄に、フルタイムとパート・アルバイト等とありますが、パート・アルバイトは同じ意味です。フルタイムと一方で言っているので、パートタイムでいいのではないかと思います。

続いて、9ページの問13-1です。回答の1つ目の「幼稚園（通常の就園時間の利用）」とありますが、幼稚園だと教育時間4時間から5時間の利用です。4時間や5時間のところもありますので、4時間から5時間の利用という言い方がいいのではないかと思います。続いて「認定こども園の一時預かり保育（認定こども園の通常の教育時間…）」と書いてあります。ここには教育時間と書いてありますが、上には就園時間と書いてあるので、統一しないといけないと思います。教育時間のほうがいいとすれば、教育時間は4時間から5時間の利用という書き方だと思います。それから、「認可保育所」という言い方も少し気になりました。公立保育所・民間保育園とかが分かりやすいと思います。認可と認可外は保護者の方だと多分理解できないのかもしれないと思います。そうすると「家庭的保育」「家庭保育室」とありますが、これも認可と書いていて、分かりづらいと思います。どちらにどう割り付けていいのか、5人以下だったらこっちで、それ以外はこっちというように、分かりやすくするといいと思います。違いがよく分からないかもしれないので、もう一度確認したほうがよいかと思います。それと、「その他の認可外の保育施設」というのは何かという話になるのかなと思います。そもそも下野市にその他の認可外保育施設ってあるのかな、どうなんだろうと思ひ、そこが気になりました。10ページ問13-5の回答で「利用する必要がない」とあります。ここで「子どもの母親か父親が」とありますが、「利用する必要がない（保護者が見ている）」のほうがいいのではないかと思います。父親か母親か、それだけではない理由もありますので、そこが気になりました。

続いて、11ページ問14は今後どんなことを利用したいと考えますかという問いですが、問13-1と同じ問いで、利用したことがある事業と今後利用したい事業は何かという話になります。先ほど言った文言を全部統一しないといけないと思いますので、問13-1で直したのであれば問14で直したほうがいいと思います。問14-2についてですが、幼稚園は下野市では1園しかありません。1園しかないのに、特に幼稚園の利用を強く希望しますかと保護者に聞くのは、かなり限定された方のうちの何人かで、その人が強く希望したからと言ってどうなのかという話になります。もしかしたら、問14-2はいらないのかもしれないという気がします。お考えいただければと思います。

続いて、12ページ問15になります。まず「重視する点はどのようなことですか」という質問の回答に、教育方針、教育内容が良いみたいな回答がないので入れていただきたい。そういうのを選ぶ人もいます。また、「保育だけでなく、さまざまな教育プログラムを提供している」という回答

がありますが、教育プログラムとはどういうことをイメージしているか想像が付きません。逆に、施設で教育時間外に提供している課外プログラムを言っているのなら、選択する人もいるのではないかと思います。質問の趣旨が変わってしまうかもしれません。課外プログラムは習い事みたいなことで、「保育だけでなく、さまざまな課外プログラム（習い事）を提供している」と言うと、放課後時にピアノ教室に通っているからこれを選ぶかという人もいるかもしれないと考えました。

続いて13ページ問16です。「あなたは、お子さんを預けるため、この1年間で保育施設探しを行いましたか」という問いですが、この1年間で保育施設を探した人ではものすごく限定されると思います。「この1年間で」を削除すれば、あなたがお子さんを預けるために保育施設を探しましたかという質問になるので、そうなればチェックする人が多くなると思います。本当に保育園を探した、保育施設を探したという人から答えがもらえないということになり兼ねないと思いました。それから問16-1で、「満足」「まあまあ満足」「やや不満」とあります。私は満足だけど、旦那は不満足とか、第一希望は第一希望だから満足、第二希望は第一希望じゃないから満足じゃないという人もいるかもしれません。第二希望までは満足で、第三希望の人は第三希望でも希望だから満足と考える人はそのようにチェックするかもしれないことを考えると、保育園探しの結果に、第一希望だったら満足、第二希望と第三希望だったらまあまあ満足、第四、第五希望だったらやや満足、それ以外だったら不満のような回答なら、希望の番号が書いてあったりして分かりやすいかなと思いました。問16-1の回答で、「保育事業に不満（送迎、給食がないなど）」とあります。保育事業というのは送迎バスのことと給食のことなのかと考えると、それだけのことで不満というのは少し違う気がします。保育内容に不満があるのなら、事業を内容に変えると少し印象が変わるのかなと思いました。そこに何に不満かと括弧書きで記載して、記述式にすると、より分かりやすくなるのではないかと思います。それから「希望した施設に入れなかった」という回答がありますが、これは既に聞いているので、いらないと思います。

続いて15ページです。「下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。なお、事業によっては、地域で実施していないものもあります」という質問があります。実施していないものを聞くのかという話ですし、下野市でやっている事業と今後こういうことがあるかもしれない事業が、ここに書いてあるといいと思います。実はこれを読んだ妻が、何を言っているか全然分からない、どこにチェックもできないと話していたので、難しい質問、答えづらい質問なのかなと思います。どこかに偏ったりするのかかなと思います。②の子育て世代包括支援センター、これは教育委員会が行っている事業のことかなと思いますので、教育委員会が行っているとか、③、④はどこで行っているかと

か、分かりやすく記載してあげると答えられるのかなと思います。育児ママ・パパリフレッシュ利用券はこういう事業ですとか、それこそもつけっ子応援プロジェクトもここに書いてあるだけでは事業内容が分からないです。これはおむつ券の交付のことですよ。これも詳細を入れてくれると、知っている、知らない、今後利用したいとか、それぞれにチェックが入っていくのではないかと思います。

次に21ページ、学童保育（放課後児童クラブ）のことが書いてあります。学童保育の公立の施設の回答欄には下校時間から何時までを入れるところがありますが、民間の学童保育には時間を入れなくていいのかなと思いました。民間の学童保育でも時間の確認ができたらいいのではないかと思います。次に24ページです。「子育て全般についてうかがいます」という質問で、「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」という回答も少しつらいなと思います。次に問29-1ですが、「子育てをする中でどのような支援・対策が有効か」ということを聞いています。あったらいいですかということで、有効ではなくて必要に変えると、また以降の文言は必要なくなると思います。ここで対策が必要だと思いますかという質問をすると、またこの先も同じことを聞くのでいらないと思います。質問に対して、「地域における子育て支援の充実」という回答は、ざっくりしすぎてどうなのかなと思います。少し分かりにくいのではないかと思います。それを下で聞くという方法、どちらかにする方法があるのかなと思います。問29-1と問30はごちゃごちゃしている感じがします。もし問29-1を使うなら、問30は使わないとか、記述式にして期待することは何ですかとか、どんどん書いてもらう方法もいいのかなと思います。29-1の「保育事業の充実」という回答の内容が、預け先の保育施設を増やすということと誤ってしまいます。「保育事業の充実」という回答は文言が分かりづらいから、分かるように噛み砕いて書くほうがよいのではないかと思います。例えば、子どもが関係した犯罪事故を減らすこと、安心安全な街づくり、安心して通学ができる通学路の整備、街灯をつけるとか、そういうことも書いていいのではないかと思います。あとはここに書いていませんが、家庭の経済的な支援、家計の支援とかが足りないので、そこは入れたほうがいいと思います。修学前児童の部分は以上です。

続いて小学生児童のほうで、事前に送られた資料の6ページ、「お子さんの放課後の過ごし方」で、「現在は利用していない」という選択をした方が、家で誰がみているのか確認したほうがいいと思います。家で誰といるのか、保護者なのか、祖父母なのか、祖父母以外の大人なのか、兄弟なのか、それとも一人なのか、その他にもいるのか、一人でいたということが多くこれも困るわけですが、利用していないのであれば、どうしているのかと聞く必要があると思います。その上で、その過ごし方に心配なことはありますかと聞く。保護者というけどゲームばかりしているとか、テレビばかり見てい

るとか、勉強はしないと、保護者がいないから外に遊びに行っちゃってなかなか帰ってこなくて心配だとか、保護者がいないから交通事故に合わないか心配だとかとなってくるのではないかと思います。ワンクッション、どうして心配なのか、大人の存在が見えない、誰かの存在が見えないと、この質問をして答えが出てきても、有効にならないのではないかと思います。

それから7ページ問8です。これは先ほど言ったことと同じです。民間の児童保育にも時間を入れたほうが良いと思います。

次に10ページです。修学前のお子さんの質問と同じ質問になっているので、ここで小学校の保護者に「育児の方法がよくわからない」と聞いても意味がないと思います。やはり今度は、小学校の教育に対して心配なことがあるとか、子どもの友達付き合い、人間関係について心配なことがあるかになると思います。

それから11ページです。「子どもを安心して産み育てられる環境をつくっていくために、下野市に期待することは何ですか」という質問ですが、先ほどの質問と同じようではないかと思います。「子育てに困った時に相談したり、情報を得られる場」と書いてあります。場というよりも、今情報がちゃんと届いていますかという質問がどこかにあったほうが良いと思いますし、IT、ウェブ、SNSとか、そういう情報を得られるコンテンツがあってもいいと望んでいるのではないかと思います。望んでいる人がいましたら、必要があるということになりますよね。保育所を増やしてほしいとか、幼稚園を増やしてほしいとか、認定こども園を増やしてほしいとか、これは施設を増やしてほしいと一括りにしたほうがよいのではないかと思います。これだから行くとか、ここだから行くとかは期待するということではないような気がします。どれも一緒に、これから預けられるという施設がちゃんとあればいいのではないかと思います。それから「残業時間の短縮や育児休業の取得促進」とありますが、子育てをしても仕事が続けられる環境ということになるのかと思います。子育てをしても仕事が続けられる環境の促進、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしいという言い方のほうが、私は残業をしていないし、そもそも時短だしとか、そういう人はどうなのだろうとなるので、そういったところを直したほうがよいかなと思います。それから、すぐに相談できる窓口が欲しいという回答があってもよいのかなと思います。子育てに困った時に相談したい、情報を得られる場というコンテンツがあったり、直通ダイヤルがあるとか、そういうことも含めてすぐに相談できる場が欲しいという答えがもらえることが大切かなと思います。

次に12ページです。「地域における子育て」のところ、問15の回答で①に「町会」とありますが、これは町内会とか育成会ということが出てくると思います。それから、⑤の「社会奉仕活動団体」は何を指しているのか少し分かりづらく、なくてもいいのではないかと思います。

最後に13ページの「こどもの権利について」、とても素晴らしいなと思いました。この権利についての情報を下の空欄のスペースに、子ども基本法のことを載せていいのではないかと思います。こんな基本法ができたんだ、それにこういうふう書いてあるんだ、だから周りの人の権利が守られていない、そもそも権利が守られている、守られていないということを知らない方がいるかもしれません。基本法ってこういうことだよ、だから手をあげたら怒られるよ、守らなきゃいけないことだよということを、アンケートをきっかけに知るということは、このアンケートをする意味が出てくるのではないかと思います。以上になります。よろしくお願いします。

(佐間田会長) 事務局いかがでしょうか。

(事務局、神田課長補佐)

この後、課内で協議の上決めていきたいと思います。現時点で言えることは、就学前児童の調査の15ページ問19について、この事業に関して分からないという意見もありますので、下の欄に説明を書いていこうと思います。

(佐間田会長) 他にご意見ございますか。それでは私から、お話しさせていただいてよろしいでしょうか。では、いくつか申し上げさせていただければと思います。全体的なことと、個々の問いに対することに分かれていきます。まず一つ目はアンケートですが、私が気になったところは問いに「お子さん」と書いてあります。表記の問題ですが、「お子さま」のほうがいいのかなと思いました。次に、養育者の背景について聞いてもらえるといいなと思ったものがありました。育児負担の程度の推察のためといいますか、このアンケートは、何番目のお子さまですかとかお子さま1人についてお伺いしています。例えば、その養育者が何人の子どもを養育しているのか、家事分担の状況とか、養育者自身の健康状態を聞いてもいいのかなと思います。日頃お母さまと接していると、お母さま自身が精神的にまいっているなど見受けられる方もいます。精神的なことはなかなか表面に出てこないものですから、病気ですとは自分でも言いにくいものです。養育者自身の健康状態に関する事、あとは養育環境に関する事です。例えば、核家族であるとか。高齢出産の方が増えましたので、介護をしながら育児をしている方も多数います。家庭内介護者の有無、おじいちゃんやおばあちゃんを介護しているとか、おじいちゃんやおばあちゃんでもなく、発達に少し問題があるお子さんの支援など、また支援を必要とする人が家庭内に複数いるかなど聞いてもいいのかと思います。あとは、配偶者がいても単身赴任であって手伝ってもらえない、いるけれども状況的に無理など、そのような養育環境、背景、育児負担を聞いてもらえたらと思いました。

事前にお配りいただいた修学前児童のほうで、3ページ問5「お住まいの小学校区はどちらですか」と書いてあります。各下に南河内小中学校、祇園小学校と書いてあるので、学校名を小学校区にしてもいいのかなと思いました。小学校のままでいいのかもしれませんが、選択肢のところと質問で違うのはどうなのかなと思いました。

次は4ページ問8です。「日ごろ、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか」というところで、うまく表現できないのですが、見てもらえるけれど、保護者にとってストレスになるような環境であるという選択肢があるといいかなと思います。例えば、おじいちゃんやおばあちゃんとかが見てくれるけど、かえってストレスになるから、本当は見てほしくないみたいなことです。そういうのをどこかに入れる、組み込むことができないかなと思いました。

次に5ページ問9-1です。「気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか」という質問の回答では、最近はネットやSNSとかが出てくるのではないかなと思いますので、そこを入れてみてはどうかと思います。次に「子どもの育ちをめぐる環境について」、日頃悩んでいることについてです。これは小倉委員と重複するところでもありますが、ママ友・パパ友とか親御さん同士の関係を入れてほしいなと思います。あとやはり、子育てに出費がかさむというのは、経済的みたいな言い方に変えてほしいなと思いました。あと、できれば入れていただきたいと思うのは、私が接しているママさんでよく聞くのは、祖父母との関係であったり、配偶者との関係であったり、兄弟の扱いであったり、家族関係について悩んでいる方も多く見られるので、家族関係という選択肢があってもいいかと思います。家庭内での育児間の不一致であるとか、SNS以外に相談できるほどの友人はいないのかもあってもいいかと思います。あと最初にも申し上げましたが、自分自身の健康、お母さんは少し具合が悪くても、どうしても子どもが優先なので、我慢をしまいこじらせることがあります。また、これは園の先生方がいる前で言いにくいのですが、園の先生との関わりとか、そういうところを悩みやすいお母さんが多いのかなと思いました。

6ページ、「養育者の就労状況」です。コロナ禍を経まして、WEB関係など在宅で仕事をしている方もいるので、その方はどのように記載したらいいのかなと思いました。

あとは15ページです。各事業に関することについて、正直、私もよく分からない事業があります。あれだろうなと想像はつきますが、どの事業のことを言っているのか分からなかったので、詳細な説明が欲しいと思います。「知っている」「利用したことがある」「今後利用したい」だけではなく、「今知らない」「こんな事業があるのを知らない」という回答を作っただけならなと思います。行政サービスの認知度を知るために、そこを入れていただけたらなと思っています。

次に16ページ問20-1です。チェック欄が5つあって、上から4番目の「息抜きのため」という回答は、リフレッシュくらいの言葉にしていただけたらと思います。あとは問30で、「子どもを安心して産み育てる環境をつくっていくために」という質問です。私も小倉委員と一緒に、経済的支援のことを入れてほしいということと、リフレッシュできる環境みたいな回答も入れてほしいです。例えば、子どもを預かってくれるでもいいですし、家事代行してもらえとか、育児はやるから家事を代行してくれるとか、そういう家事代行サービスであるとか。あとよく話に出てくるのは、下野市では場所柄難しいのかもしれませんが、若いお母さんは公園とかショッピングモールが欲しいのかな、商業施設とかそういったものはどうなのかなと思いました。少し別の観点からの話ですが、市のサービスやさまざまなサービスの情報をどこから入手しているかという基本的な質問と、市からの情報をどのような形で提供してもらいたいのか、そういうようなところもどこかの質問で聞いていただけたら、今後の施策に役立てられるのではないかなと思いました。問30とかに出てくる専業主婦の主婦という言葉は女性だけの扱いになっているので、実際は男性の方もいらっしゃいます。そこをどのように記載するかは難しいですが、お父さんが家庭を守っている方もいますので、そういうところをちょっと汲んでいただきたいです。

あとは小学生児童のアンケートの9ページ問11で「子育てが楽しいあるいは辛いと感じる」を選んだ方で、問11-1「辛さを解消するために必要なことは何ですか」という質問で、家事の分担の割合が変わるとか回答があると思います。それと、男性の方には申し訳ないですが、父親の育児に対する意識の変革であるとか、ジェンダー的なことになってしまいますが、そういうところを女性目線でいうと、すごくそれが変わると意識が変わると思ったりしました。

最後に、こどもの権利についての質問は、小倉先生と一緒に、大変素晴らしいと思いました。下野市独自ということですので、本当にこれは記載していただいてありがたく思っています。意見は以上になります。

(事務局、神田課長補佐)

同じ答えになってしまいますが、課内で協議の上、修正していけばと思います。先ほど小倉委員から修学前児童の問13でご指摘がありました。おっしゃるとおりだと思いますが、お渡ししました調査項目区分にあります。こちらは丸の部分で、必須項目となっております。そのため、こちらを変えていいのか確認した上で検討していきたいと思っておりますので、ご了承ください。

(佐間田会長) 他にご意見がございますか。

(近藤委員) 本日配られた資料の修学前児童保護者の皆さまへのほうで、24ページ問3

2の説明があつて、回答に④、⑤があります。この回答の人は問30へ戻りますが、何で前に戻るのかなと思ひました。他にもそういうのが多々ある感じがします。例えば、本日配られた小学生児童保護者の皆様へで、6ページ問12で「現在は利用していない」という回答は、問7-1に戻りますが、これはどういう意味でしょうか。

(佐間田会長) 事務局、お願いいたします。

(事務局、神田課長補佐)

大変申し訳ございません。こちらはまだ直しきれていない部分でした。再度見直しをしまして、修正したいと思います。

(佐間田会長) 他にはいかがでしょうか。

(金澤委員) 先ほど小倉委員の話を伺つて、もっともだなと思つた部分で、気づいたことがあります。修学前児童の12ページ問15で、「選ぶ際に、重視する点は」という質問で、「保育だけでなく、さまざまな教育プログラムを」というところがあります。小倉委員からは課外じゃないかということでありましたが、正課内でいろいろやっているのもあるので、正課内か課外の2つに分けてもいいのかなと思ひました。あと、最近問い合わせで出た話になりますが、薬師寺では学童保育もやっていますので、兄弟2人とも迎えに来ることができて便利だから選んだと話をいただくこともあります。学童保育が併設されているとか、そういった回答もニーズがあるのかなと思ひます。

(事務局、神田課長補佐)

こちらにも協議の上、検討してまいります。

(佐間田会長) 他にご意見ございますか。お子さんを育てている方、今後の私たちの育児に関わることで、何かありましたら、細かなことでも構いません。ご意見頂戴できますか。

(近藤委員) 設問ではありませんが、資料1の調査概要で、調査対象者が就学前は1,400件で過半数ですが、小学生児童は600件で、小学生児童数が3,035人なのに600件でいいのかなって思ひました。その調査対象者の数どのように決まったのでしょうか。

(佐間田会長) 事務局、お願いいたします。

(事務局、神田課長補佐)

まず、今回は3回目の調査となり、1回目、2回目と同じ数字で調査していたため、その数字をそのまま使用したという部分があります。回収率については、なるべく前回と同様くらい、できれば上回るくらいの回収率としたいと思っています。また、アンケートをするにあたり誤差率というものがあります。誤差率が5%であれば、そういった範囲の対象に関わらず、アンケートの結果が変わらないとされています。例えば、就学前児童1,400件に対して、回収率が大体60%だと誤差率がだいたい2.6%で、30%だと2.4%です。小学生児童の場合は、回収率が90%だと誤差率が2.4%、30%だと3.7%という試算が出ました。ともに5%以内の誤差率ですので、信頼できる数字ではないかと想定されています。就学前児童については、概ね1,000件の回答を目標にしているところです。

(近藤委員) 答えになっていませんが。

(佐間田会長) 近藤委員がご指摘なところは、就学前児童が0歳から6歳までで1,400人なのにというところで、人数に対する割合でしょうか。

(近藤委員) 小学生は600人にしか聞かないわけですよ。

(佐間田会長) アンケートの配布枚数にバラツキというか、どういう意味があるのか、というところです。

(近藤委員) 少なくともいい調査ですか。

(佐間田会長) お時間を頂戴したほうがよろしいでしょうか。ではその間に、ご意見などございますか。お願いいたします。

(小池委員) 保護者目線での話ですが、やる気の出るアンケートにしてほしいです。ロゴを入れたり、オープンにしてほしいなと思いました。意見をたくさん集めたいのであれば、やる気の出るアンケートにしてほしいなと思いました。あとは、空きのスペースにカンピくんを入れたり、下野市のイメージキャラクターを入れたりしてもいいのかなと思いました。表紙もちょっと変えたほうが良いと思います。

(佐間田会長) ママ受けしないですね。

(小池委員) QRコードの周りとかにも、工夫できると思いました。

(佐間田会長) 事務局、よろしくお願いします。

(事務局、神田課長補佐)

現段階では何も味気がないので、空きスペースに可愛いイラストとかを入れ、親しみやすいアンケートにできればと思っています。

(佐間田会長) 他にはご意見いかがでしょうか。大橋委員はいかがでしょうか。お母さんとして、どういうのがあったらいいなどありますか。

(大橋委員) すみません。量が多くて読みきれませんでした。

(佐間田会長) それが母親の忙しさですよ。分かります。他にはご意見ございますか。出尽くした感じでよろしいでしょうか。アンケートは今後の施策の重要な基本となるものです。これで締めさせていただきます。よろしいですか。

【質疑なし】

(佐間田会長) では、このアンケートに関する質疑応答は締めさせていただきます。事務局から説明がありましたとおり、委員の皆様から出た意見で反映できるものは反映しまして、最終アンケートの内容は私の一任とさせていただくということでよろしいでしょうか。確認したアンケートは全委員に配布し、その後アンケート用紙を対象者へ配布いたします。では、次の議題に移ります。特定教育・保育施設の利用提案について、事務局に説明をお願いいたします。

(事務局、篠原課長補佐)

【資料4、4-2、4-3に基づき説明】

(佐間田会長) 委員の皆様よりご質問等ございますか。

【質疑なし】

(佐間田会長) 続きまして、その他に移りたいと思います。その他について、事務局から事務連絡など何かございますか。先ほどの質問の回答はいかがでしょう。

(事務局、神田課長補佐)

分かる範囲での回答になりますが、サンプル数を増やして調査を行うということが、望ましいということになりますが、配布の件数を増やすと、調査の手間や経費が増加するため、むやみに配布数を増やしていないという状況です。サンプル数の決定は、その誤差の大きさやコストなどの兼ね合いで決め

たというところがあります。国が実施している調査では、誤差率を5%程度に収めるように設計することとなっています。そのため、就学前児童が1,400件、小学生児童が600件という数字に設定しました。

(小倉委員) 学童利用者の全体に対する利用率が何%で、それに合わせて件数を出しているというような回答がいいのかなと思います。就学前の子どもたちは全体の総数でほぼ利用しているから件数が多く、小学生は学童を利用している人たちが少ないわけです。みんなが使っているわけではないから、その割合も関係しているのかなと私は推測しました。

(近藤委員) 学童に行っている人だけが答えるアンケートなのですか。

(小倉委員) そういうわけではなく、質問の内容が学童を利用しているか、利用していないかという質問もあるので、それを推察すると、学童を利用している人の割合からという根拠のかな、割合を出してみるのがいいのかなと思いました。

(近藤委員) 就学前児童を少なくするのはどうですか。コストがかかると言っていましたが、たくさん設問があり、ページ数も多く、回収率が67.1%で940件しか回答が集まらないのでは、1,000件に配布枚数を減らしてもいいのではないかという考えです。なぜ就学前が多く、小学生が少ないか、配布件数はどうやって決めたのかが疑問です。回収率が低いならば、元々の配布件数を減らすことで、コストを下げるという考え方はどうなのかなと思いました。

(小倉委員) 小学生の回答が多いのは学校で配っているからです。就学前は園から配っているわけではなく、直接ご自宅に届きます。園が回収すればいいのですが、園は回収をしないので、回答者は郵送や各自で提出という状況です。

(近藤委員) それは園で配れないのですか。

(小倉委員) 園では個人がわかってしまうので、配れないということだと思います。

(事務局、神田課長補佐)

全員が必ず保育園などに通っているとは限らないので、そこは無作為に抽出させていただきます。

(小倉委員) それと、施設側でこれを書いてくださいとか、何かしらアピールできてしまいます。

(事務局、神田課長補佐)

毎回園には回収をご協力いただいています。また今回もお願いしたいと思っています。

(近藤委員)

保護者もお子さんが小学生になると、だんだん周りのことが分かってきて、答え方も分かってくると思います。でも就学前の人は、対象の児童が第一子だったら、特に答えようがないと思いますし、分からない人は書かないですし、回収が難しくなると思います。

(小倉委員)

たくさん配らないと回収率が上がらない、戻ってこないからなるべく多く配りたいというのは、先ほどの誤差率の話であったり、答えが半分以下だとアンケートの意味も分からなくなってしまうとか、そういうことかと思います。  
今回はウェブ回答が増えたので、もしかしたら回答率が上がるかと思いません。

(近藤委員)

分かりました。

## 5. その他

(佐間田会長)

では、他に事務局から事務連絡等はありませんか。

### 【事務局から連絡等なし】

(佐間田会長)

今日ご発言いただいている方もいます。この機会に、同じように子どもに関わっている方ばかりですので、情報提供や情報交換ができたと思います。一言ずつで構いませんので、発言いただきたいと思います。参考になりましたとか、忙しくてアンケートに回答できないかもしれませんが大丈夫です。では中田委員から順番でお願いしてよろしいでしょうか。

(中田委員)

少し関係ある話と関係ない話となりますが、今、弊社で栃木県と包括連携協定を結ばせていただいています。11月22日がいい夫婦の日ということで、こちらで話が出てきました。「とも家事」と言いまして、奥様ご主人様が共に家事をやろうということで、今、キャッチコピーを募集させていただいています。こちらは県の話になってしまいますが、県のホームページにてキャッチコピーを募集させていただいていますので、ぜひ応募していただければと思います。私は単身赴任なので一緒に家事はできませんが、離れ離れで家事をさせていただいています。子育てにも非常に関係してくるかなと思いましたので、お知らせいたします。

- (近藤委員) 一会議一質問みたいなことを、小学校の時に担任の先生から言われています。小さい時の教育は、先生の言葉が結構頭の片隅に残っていることがあるので、そういうのは大切だなと思います。
- (野口委員) 話がたくさん出て、そうなんだと思うことがありました。私はアンケートをすると、これ知らない、これも知らないとか、そういう回答になることがあります。園でも、文字がぎっしりアンケートに書いてあると、読むのが大変なので、簡単にしたりします。これはいっぱい書かないといけないアンケートなので難しいですが、その他とか書いてあげたほうが、保護者は意見を書きやすく、自由記入欄のように書いてくれます。あと子どもの権利については先ほども出ましたが、ここにこういう内容と付け加えると、保護者はどういふものなのか読むのかなと思いました。
- (金澤委員) ここで聞いていいのか分からないものですが、私は小学3年生の子どもがいて、小学校から来たお便りがしっかりしているなと思いました。2枚コピーを持ってきましたので、こちらを回させていただきます。これがどういふお便りかという、私の子どもが通っている小学校で、学童利用している子を間違えて下校させてしまったというものです。学童保育あるあるではありますが、この校長先生が出したお便りは、すごいしっかりしているなと感じました。私たちも学童をやっていて、学童の迎えも何回も行きます。そこで一番困ってしまうのが学童を利用するはずだけれど、子どもが勘違いをして家に帰ってしまったという事例です。そういった場合何をするかというと、まず職員室に連絡をして、総出で探しに行きます。だいたい家の前でしくしく泣いているので、もう泣かないで一緒に学童に行こうみたいなやりとりをして、私も3回ほど連れて帰ったことがあります。この学校はこの下校確認カードというものを使っていて、これが非常に簡単で、下校班で帰るのか、学童で帰るのか、それとも誰が迎えに来るみたいなことを簡単に書けるようになっていて、すごく便利に使わせていただいています。私の経験上、迎えに行く学校で、これがないことがあります。その場合、うちの学童では要綱に、その日学童利用なのか、それとも下校班で帰るのかを毎日連絡帳に書いてくださいとお願いしています。問題が起きるときに連絡帳を確認しますが、保護者にとってはとても面倒なため、毎回書いていません。もし、これが市内の小学校で共通的に使われれば、お迎えのときのトラブルがだいぶ減るのではないかなと思いましたので、今回紹介させていただきました。教育委員の方もいますので、他でお話いただければ、すごくいいかなと思いました。
- (川中子委員) 前回の会議は所用で出席できなかったため、今回初めて参加させていただきました。すごい大人の会だなと思いました。意見が大人で、頭の回転が早い

方が多く、羨ましいなと思いました。ここで言う話かどうかわかりませんが、保育園の方、幼稚園の方もいますので、宣伝ではありませんが、細谷小学校は下野市の小学校の中で一番小さな学校で、全校生徒52人で運営しています。細谷地区は3地区ありますが、それ以外からもあやめ地区という他の学区からのお子さまも来ています。このアンケート欄に載っている学校の中で、心が窮屈になってしまった生徒も細谷小学校に転入してきて、いきいきと生活をしています。もし小学校に上がる際何かありましたら、私の在学中は120人いましたので、あと60人は受け入れる体制はあります。どこかいい小学校はありませんかとなった場合、細谷小学校を一つよろしくお願ひします。今スポークスマンやっていますので、よろしくお願ひいたします。

(小池委員) すごくためになる会議で、保護者側からしても、初めて聞くような内容が多くありました。私は子どもが3人いるため、普段は座る時間もなく、毎日戦争のような思いをしています。合間を見つけてもう少し見たいと思います。

(大橋委員) 1歳と、もうすぐ3歳の未就学の子どもが2人家にいます。今後、アンケートがもし届くようなら、一生懸命頑張って、お正月休みに答えたいと思います。

(一戸委員) 前に会議に出たとき話をしましたが、私はもう子育てが全部終わっていて、子どもはもう社会人になっています。今後、孫が生まれてどうするかという部分になってくると思います。私は今、サッカーのコーチをしています。私の子どものいたときに県で200チーム以上あったのが、現状150チームくらいです。それも同じチームが3チーム出している状況もあるので、実際は100チームくらいしかないのかなと思っています。ここに公募した理由として、この地区は、私の家もそうですが、周りにおじいちゃんやおばあちゃんしかいなく、完全に過疎化している状況です。自治会も地区の半分以上の方が入っていないくて、ごみはどうするとか問題も結構あります。私も家内と2人で住んでいて、子どもは全員出て行ってしまっていますが、それでも今言っていた部分には参加しながらやっています。どうしても子どもがいない状況なので、チームの存続が危うく、無くなっているチームもある中、なんとか細々とやっています。何とか支援をしながら、子どもを増やしていける環境を少しでも作っていかないといけないと思います。噂では、もう緑小が無くなってしまおうのではないかと聞きます。私の子どもがいた頃、南河内第二中は学年で200人近くいたのが、今は何十人ということで、人がいなくて部活もできなくなってきて、昔ほど活気がなくなっているのが現状です。そういう中で、少しでも協力できたらと思い、委員となっています。

専門的なことが大分出てくるのでなかなかついていけません。お役に立てていないというのが正直なところですが、そこは頑張って勉強しながらやっていきますので、よろしく願いいたします。

(藤川委員) 私は下野市の赤ちゃん訪問とか、見守り訪問とか担当させていただいています。訪問を2回行くことによって、お母さんたちのいろんなニーズなど、何かしらが見えてくるかなと感じています。育休中なので保育園をお兄ちゃんお姉ちゃんたちが退園しなきゃいけないということを聞いたりします。産後うつ病で非常に点数が高くなっているお母さんも結構見かけるため、保育園の人数はやっぱり重要なのだなと思いました。出生数が前年度よりも20%下がってきたということで、非常に産科関係の先生方は慌てています。子どもの数が少なくなって、お母さんの育児能力とかがすごく下がってきています。出産の現場とかでいろいろ指導しても追いつかない状況ですし、地域でいろいろやっていかないことが多くなってきています。その中で、保育園が伴走支援みたいな形で一緒に悩みを解決していくような場にしてもらえると、もっといいですし、利用しやすいような場になっていいのかなと思っています。人数が限られていたりするので、このまま減らさずに行ってもらえると、そういうお母さんを助けられる場にもなるのではないかなと思っています。アンケートは、忙しくてゆっくり見ることができませんでした。細かく見るとすごくいろいろあるのだなと思って、少し反省をしています。またゆっくり見ていきたいと思います。私もいろんなところでアンケートをするときにQRコードで見えています。だいたい何分くらいの時間を要しますと書いてあると、この時間なら今回答えることができたりするので、そういう目安があると、やりやすい時間にやってくれるのかなと思います。この小学校の下校確認シートは教えていただいてよかったと思います。私たちもそうですが、ヒヤリハットは気を付けようとしていたら終わってしまい、絶対に間違いが起こります。システム化してもらえると、いろいろな間違いが起こりにくいと思いますので、ぜひこれは市内の小学校に提案という形で持っていくといいのではないかなと思いました。

(佐間田会長) 委員の皆様には、貴重なご意見をいただきありがとうございました。また、下校確認シートの情報提供もありがとうございました。安全に関わることでですので情報提供していけたらと思います。それでは進行を事務局に戻したいと思います。

## 6. 閉会

(事務局、浅香課長)

長時間にわたり大変ありがとうございました。皆様からいただいたたくさんの意見は、もちろんアンケートに反映させていただくものもありますが、ど

うしても国の必須項目等でアンケートの設問としてある程度決まっているものがあります。全国的に比較したり、前回のアンケート結果と比較したりとか、そういったものもありまして、一部反映できない部分もあるかもしれません。本日いただいた意見とその反映状況などを一覧表のようなものにして、意見がこのように反映されたというものを示したいと思います。最終的にできたアンケートだけでなく、視覚的にも分かるような形で、本日の会議での貴重な意見を見えるようにしていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。次回開催は、3月中旬頃を予定していますので、アンケートの集計結果の報告などをさせていただきたいと思います。日程については決まり次第、通知を差し上げますのでよろしくお願いいたします。

以上をもちまして、令和5年度第2回下野市子ども子育て会議を閉会いたします。

以上

会議の経過を記載し、その相違がないことを証するためここに署名する。

会 長 .....

議事録署名人 .....